【模範解答】

Ⓑ

# 国語総合

問1 ア 絶好　イ 補足　ウ 治　エ 強引　オ 依頼

問2 a しんとう　b ひんぱん　c たた　d もう　e へいふく

問3 あ 江戸時代に書かれた数多くの教訓書
い 表彰に関わる歴史資料や伝記
う 巡検使たちの後を追いかけ、帳面から名前を消して下さいという姿

問4 為政者の多くが朱子学を重んじて政治に取り入れたため

問5 2 3 4

問6 自分は親孝行などしていないと言い続けていたはずなのに、いつのまにか孝行者として祭り上げられてしまった

問7 3

問8 金銭　米　絹　綿

問9 年貢に関わる褒美は、孝行者や親が生きている限り、というのが一つの基準であり、永代にわたり年貢を免除するというのは他にほとんど例がない。

問10 1 三月五日　2 勘定奉行　3 （将軍）綱吉　4 （一子）徳松　5 肖像画

問11 （例）本人は「自分が孝行者なんてとんでもない」と否定しているのに、土地の人々が称えるので巡検使たちは五郎右衛門を孝行者として報告した。勘定奉行も巡検使の報告を受けて江戸に呼んだので強引に孝行者にしてしまった。老中、奉行らが居並ぶ中、将軍の朱印状が手渡され、破格の褒美が下された。再度江戸へ招かれて将軍綱吉やその生母、一子徳松に面会した。さらに幕臣天野弥五右衛門によって宴席が設けられ肖像画や伝記が残された。

受験番号

氏　名

問1　問2　問3　問4　問5　問6　問7　問8　問9　問10　問11

計

# 2023年度一般入試 B日程

## ― 傾向と対策 ―

## 国語総合

### 出題のねらい

大学生として必要な読解力と文章力、すなわち、論理的文章を読んで内容や論の組み立てを理解できるか、また、それについての自分の考えを表現する力があるかを問うことを目的として出題しています。ある程度の長さの文章を読んで、文章全体の構成や主旨を正しく理解し、設定された問題に応じて自分の意見をまとめることを要求します。年度によって文学史や文法の知識に関して出題することもあります。

### 出題形式・内容（分野）について

形式はこの数年変わっておらず、3000 ～ 3500 字程度の文章とそれについての 10 前後の小設問で構成された大設問が 1 題というかたちで出題しています。出題範囲は現代文のみで論説文が多く、とくに文化論や社会学・心理学に関連した文章を多く取り上げています。2023 年度の B 日程では勝又基氏の『親孝行の日本史』から出題しました。著者は近世文学や近世文化を研究し、近年は孝子や孝行に関わる著作を出版なさっています。本書は古代から近代までの「孝」について表彰に注目して論じており、江戸時代に幕府から初めて表彰された中村五郎右衛門に関する一連の記述の部分で問題を作成しました。基本的な漢字の読み、書き、語の補填の問題から内容を問う問題まで、11 問を設定しました。まずは正確に文章を読みとっているかを把握することをねらいとしています。漢字に関しては大学生として様々な文献を読みこなしていかなければならないと考え、高校までの学習範囲に限らず、一般的なものをも含めて出題しています。また、論理の展開を踏まえてきちんと内容を押さえていることを確認するための設問を多くしてあります。問 11 はこの文章の中心的なテーマでもある、「孝子の表彰には周囲に巻き込まれ、振り回される要素が大変多い」ということについて、150 字以上 200 字以内でまとめるという問題です。200 字でまとめることは試験時間の中では難しいと感じられるかもしれませんが、最初に問題に目を通したうえでポイントを拾っておき、解答に取りかかれば無理ではないはずです。採点はすべて手作業で行っています。

### 採点後の感想・効果的な学習方法

「出題のねらい」にも記載したとおり、大学生として要求される基本的な読解と表現の力を問う出題ですので、普段からいろいろな文章を読み、考え、書く習慣をつけておくことが大切です。同時に設問の要求することを正確に読みとり、それに応えていくことも必要です。たとえば「抜き出し」なのか、自分の言葉で「まとめ」るのか、何字で書くことを要求されているのか、といった「きかれたことにきちんと答える」という姿勢がもっとも大切です。また今回は一覧表を作り、それを完成させるという設問も用意しました。本文をしっかり読み取っていただければ難しくはないと思います。そして繰り返し出てくる表現はキーワードとしてしっかり押さえましょう。また、キーワードや字数の指定は「抜き出し」たり「まとめ」たりするための大きなヒントになります。